

## Abridgment of Document 1

Japanese utility model unexamined publication No. S62-102451

Date of Publication: 1987-06-30

Applicant: TACHI-S Co. Ltd. (Old Name is TACHIKAWA Spring Co. Ltd.)

Title of the invention: Seat for a vehicle

Fig.1 is a perspective view of an embodiment of the present invention.

Fig.2 is an exploded perspective view of the seat shown in Fig. 1.

Fig.3 is a partly diagrammatic sectional view along III-III line of Fig. 2.

Fig.4 is a partly diagrammatic sectional view along IV-IV line of Fig. 2.

Fig.5 is a partly diagrammatic sectional view of the other embodiment  
which is equivalent to Fig. 4.

1--- seat for a vehicle, 2--- seat cushion, 3--- seat back, 4--- pad member,  
5--- mat member, 5a--- cavity, 5c--- vent, 7--- tubular member

**PURPOSE:** To provide a seat for a vehicle that can offer an occupant a comfortable feeling of ventilation, and that can purify air of the inside of vehicle.

**CONSTITUTION:** A seat for a vehicle (1) comprises a seat cushion (2) and a seat back (3). A sitting part of the seat cushion and the lumbar vertebra support part of the seat back (3) comprise a mat member (5) which is mounted on a pad member (4). The mat member (5) and the pad member (4) are covered with an outer skin member (6).

The mat member (5) is formed inside with cavities (5a) extending both longitudinally and transversely and tubular members (7) are provided at the intersections (5b) of these cavities (5a) respectively. In addition, a lot of vents (5c) are formed in the mat member (5) between the cavities (5a) and the upper surface of the mat member (5) so that the cavities (5a) and the outside are in communicate with each other.

The pad member (4) is formed with grooves extending longitudinally and transversely.

The proximal ends (7a) of the respective tubular members (7) of the mat member (5) are collected on the back side of the pad member (4), and connected with the compressor in the vehicle through one tube member (9). The compressor sends and sucks the air.

7D /  
公開実用 昭和62- 102451

⑯ 日本国特許庁 (JP)

⑮ 実用新案出願公開

⑰ 公開実用新案公報 (U)

昭62- 102451

⑯ Int.Cl.<sup>1</sup>

A 47 C 7/74

識別記号

厅内整理番号

7309-3B

⑯ 公開 昭和62年(1987) 6月30日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑰ 考案の名称 車両用シート

⑰ 実 願 昭60-195344

⑰ 出 願 昭60(1985)12月19日

⑰ 考案者 岩見 匠秀 昭島市松原町3丁目2番12号 立川スプリング株式会社内  
⑰ 出願人 株式会社タチエス 昭島市松原町3丁目2番12号

## 明細書

### 1. 考案の名称

車両用シート

### 2. 実用新案登録請求の範囲

パッド部材からなる着座部と腰椎支持部の一方、若しくは双方の上面に、内部に空洞を形成したマット部材を載置し、このマット部材の上面に、前記空洞に連通する多数の通風孔を形成するとともに、前記マット部材の空洞に、前記パッド部材の内部を通る複数の管状部材を連結し、この管状部材に送風および吸気を行なう吸送装置を取付けたことを特徴とする車両用シート。

### 3. 考案の詳細な説明

#### (産業上の利用分野)

本考案は車両用シート(特に自動車座席)に関し、より詳しくは送風および吸気装置を備えた車両用シートに係るものである。

#### (考案の背景)

従来、この種の自動車座席としてはシートバッ

クあるいはシートクッションこのいずれか一方あるいは双方より温風を吹出し、シート(座席)にすわった乗員の暖房を図る温風吹出し装置を備えたものがある(実開昭55-59953号公報)。この温風吹出し装置はシートバックあるいはシートクッションのいずれか一方あるいは双方に、多数個の温風吹出孔が形成されたクッション部材を取付け、このクッション部材の各温風吹出孔へ温風を導くパイプと、このパイプ端部に温風送出装置が取付けられて構成される。

(考案が解決しようとする問題点)

上記構成にかかる自動車座席は、クッション部材に多数個の温風吹出孔を形成し、この各温風吹出孔へ温風を導びくパイプを取付け、着座者の暖房を図っていたため、着座者に長時間の温風をあてることは健康上好ましくなく、また、着座者が汗をかいているときにはその汗による異臭が車内に滞り不衛生であった。

この考案はかかる問題点を解決すべくなされたものであり、着座者に心地良い送風感を生ぜ

しめるとともに、車内の空気を清浄化できる車両用シートを提供することを目的とする。

(問題点を解決するための手段)

この考案にかかる車両用シートは、パッド部材の着座部と腰椎支持部の一方、若しくは双方の上面に、内部に空洞を形成したマット部材を載置し、このマット部材の上面に、前記空洞に連通する多数の通風孔を形成するとともに、前記マット部材の空洞に前記パッド部材の内部を通る複数の管状部材を連結し、この管状部材に送風および吸気を行なう吸送装置を取付けたことを特徴とする車両用シート。

(作用)

この考案にかかる車両用シートによれば、吸送装置によって、管状部材からマット部材の空洞および通気孔を介して、車内の吸気および送風を行なうことができるため、車内の空気状態を良好に保つことができ、乗員は快適に運転ができるとともに、マット部材に複数の管状部材を取付けているため、乗員の重量によって管状

部材がつぶれることなく車内に吸気を行なうことができる。

(実施例)

この考案にかかる一実施例を第1図ないし第5図に基づいて説明する。同図中、(1)は自動車座席で、シートクッション(2)とシートバック(3)とからなる。前記シートクッション(2)の着座部およびシートバック(3)の腰椎支持部はパッド部材(4)にマット部材(5)が取付けられ、これらパッド部材(4)およびマット部材(5)を表皮部材(6)によって被覆して形成される。前記表皮部材(6)は通風性の良好な素材から形成される。前記マット部材(5)はその内部に幅方向および奥行き方向に沿ってそれぞれ2列および3列に格子状の空洞(5a)が形成され、この空洞(5a)の交差部(5b)にはそれぞれに管状部材(7)が取付けられる。さらに、このマット部材(5)には空洞(5a)とマット部材(5)の上面との間に多数の風孔(5c)が形成され、前記空洞(5a)内と外部とを連通している。

パッド部材(4)にはその上面に前記マット部材(5)の空洞(5a)外形部を嵌合するための溝(4a)が幅方向および奥行き方向に形成されるとともに、マット部材(5)の管状部材(7)を差し込む穴(4b)が穿設される。なお、(8)はワディング部材であり、このワディング部材(8)と表皮部材(6)との間に前記マット部材(5)が配設される。そして、マット部材(5)の管状部材(7)基端部(7a)はパッド部材(4)裏面で集められ、一本のチューブ部材(9)を介して車内のコンプレッサ(図示せず)へ連結する。なお、このコンプレッサは送風および吸気を行なう。

上記構成に係る自動車座席は、シートクッション(2)の着座部およびシートバック(3)の腰椎支持部に、空洞(5a)および多数の風孔(5c)を形成したマット部材(5)を取付け、コンプレッサによってチューブ部材(9)および管状部材(7)を介して、前記空洞(5a)および風孔(5c)から車内に送風および吸気を行なうことができるため、車内の異音を換気することができて常に

快適な車内状態を保持することができる。また、空気の流通路となる複数の管状部材(7)をマット部材(5)の空洞(5a)に取付け、空気の送風および吸気を行なっているため、乗員がシートクッション(2)に着座しても、その重量で流通路となる管状部材(7)が押しつぶされることなく吸送を行なえる。

さらに、マット部材(5)は薄く形成されているため、表皮部材(6)とワディング部材(8)と同時に縫製することができ、吸送を行なうことができる座席の製作が容易化する。

第5図に示すものは他の実施例であり、表皮部材(10)の裏面に、チューブ部材(11)の壁部(11a)に小孔(11b)を形成して縫い付けて取付けたものである。この表皮部材(10)は目のあらい素材から形成され、通風性が良好である。この実施例においても前記実施例と同様な効果を奏する。

(考案の効果)

この考案によれば、パッド部材からなる着座

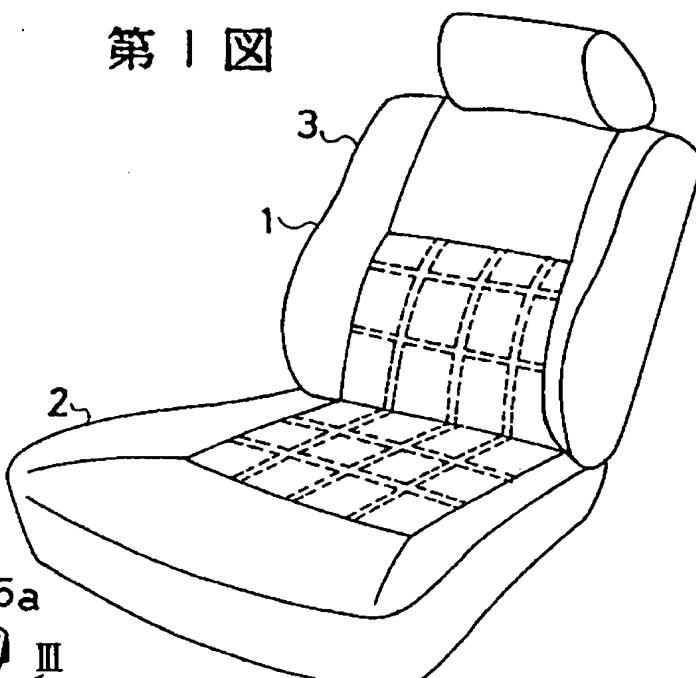
部と腰椎支持部の一方、若しくは双方の上面に、内部に空洞を形成したマット部材を載置し、このマット部材の上面に、前記空洞に連通する多数の通風孔を形成するとともに、前記マット部材の空洞に、前記パッド部材の内部を通る複数の管状部材を連結し、この管状部材に送風および吸気を行なう吸送装置を取付けるという簡単な構造により、車内の吸送を行なえて快適に運転することができる車両用シートが得られるという効果を生じる。

#### 4. 図面の簡単な説明

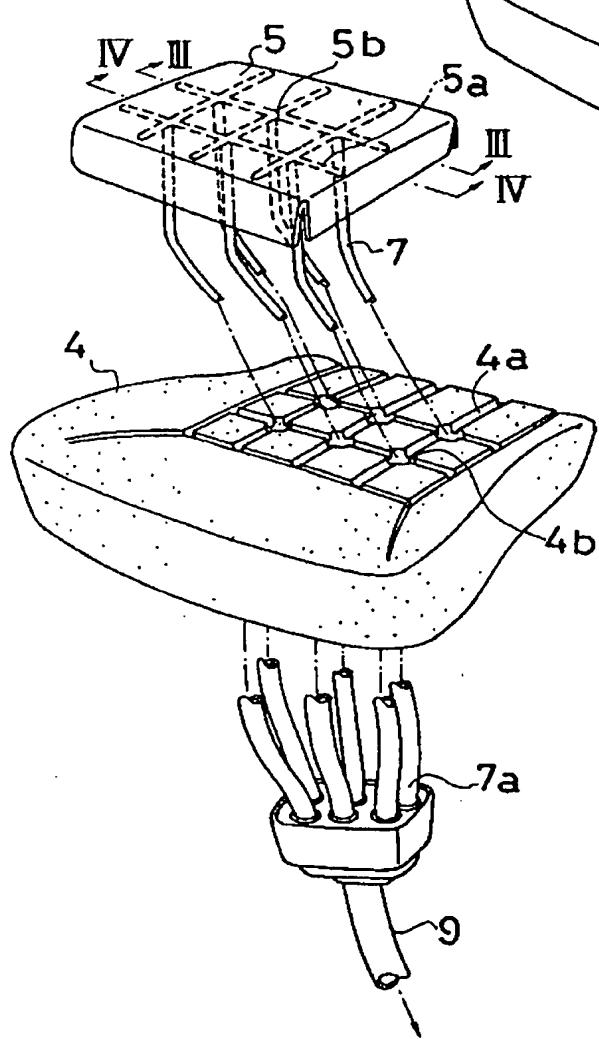
第1図はこの考案に係る一実施例を示す自動車座席の斜視図、第2図は第1図に示す座席の分解斜視図、第3図は第2図のⅢ-Ⅲ線に沿う部分断面図、第4図は第2図のⅣ-Ⅳ線に沿う部分断面図、第5図は他の実施例を示す第4図相当の部分断面図である。

図中、(4)はパッド部材、(5)はマット部材、(5a)は空洞、(5c)は通気孔、(7)は管状部材である。

第1図



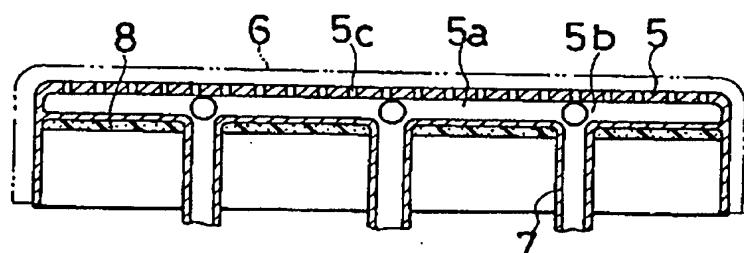
第2図



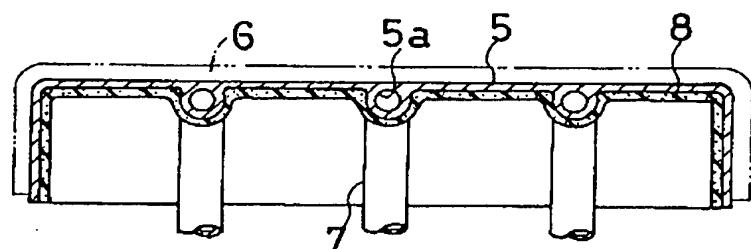
498 実用62-102451

出願人 立川スプリング株式会社

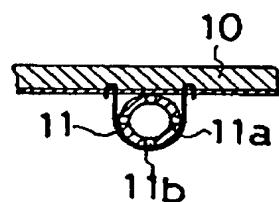
第3図



第4図



第5図



499  
昭52-100451  
立川スプリング株式会社